

2021年3月17日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社 SCREEN ホールディングスで「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承^{みけ かねつぐ}（以下、当行））は、株式会社 SCREEN ホールディングス（代表取締役 取締役社長 最高経営責任者（CEO） 廣江 敏朗^{ひろえ としお}（以下、当社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション¹等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるシンジケートローン契約（以下、本契約）を、2021年3月16日に締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、「2030年3月期までに、CO₂排出量（総量ベース、スコープ1,2）を、2019年3月期実績比30%削減する SBT に向けたマイルストーンとして、2024年3月期までに同10%削減」を SPT として設定し、SPT 達成状況に応じて、優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。

本削減目標は、国際的なイニシアチブである SBT（Science Based Targets）イニシアチブ²の基準「地球の気温上昇を産業革命前より2°Cを十分に下回る水準」に基づいています。

本契約では、株式会社日本格付研究所より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

本契約の SPT は、当社のサステナビリティ戦略である「Sustainable Value 2023」を遂行する上で重要な役割を担っております。また、SBT イニシアチブに基づいた CO₂排出量の削減目標は当社にとって意欲的な目標設定であり、脱炭素社会実現への貢献、持続可能性の改善に結びつくものとして、意義の深い取り組みと考えます。

本ローンの概要

| | |
|---------------|--|
| 契約締結日 | 2021年3月16日 |
| アレンジャー/エージェント | 三菱UFJ銀行 |
| 組成金額 | 100億円 |
| 資金使途 | 事業資金 |
| 貸出人 | 三菱UFJ銀行、りそな銀行、京都銀行、滋賀銀行、 日本政策投資銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行 |

当行は金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げており、本業である金融機能を通じた環境及び社会の課題解決に積極的に取り組むことで、持続的な事業の成長と企業価値の向上の実現を目指しています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

当社のプレスリリースは以下リンクをご参照ください。

(ウェブサイトへのリンク) <https://www.screen.co.jp/news/NR210317>

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 60 ヶ国以上約 630 機関が加盟。

[2] 企業の GHG 削減目標が科学的な根拠と整合したものであることを認定する国際的なイニシアチブ。パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より 2℃を十分に下回る水準(Well Below2℃ : WB2℃)、もしくは 1.5℃未満に抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5 年～15 年先を目標年として企業が設定する温室効果ガス排出削減目標。

以 上